

東日本大震災被災地派遣 第29班活動報告

平成23年9月20日～9月23日

29班 美濃部るり子(Dr)

松本文彦(Ns)

杉原理恵(臨床検査技師)

岩本亜希子(PSW)

大船渡市の現状

- 大船渡市の災害対策本部は終了。
- 市内の各所では、電柱が建てられるようになり、震災後から警察が手旗信号で対応していた交差点にも信号が復活。
- 地震や津波で倒壊した建物を修繕したり、建設するところが増加。
- プレハブを利用した居酒屋がオープン。



信号が復旧

支援体制の現状

- 全国から派遣されていた保健師チームは縮小ながらも活動継続中。
- 沖縄医療チームは個々の診療はせず、隔週2～3日程各機関・施設対象の教育的なアプローチを中心に活動。
- 仮設住宅には集会所を設置し、支援員を配置。仮設住宅ごとのイベントや仮設住宅での生活支援を担当。

- 保健所職員はローテーションで土・祝日は出勤シフトを組んでケース・業務に対応。
- 久里浜チームの処方箋では地域での薬物処方不可となり、派遣当初と同様に直接処方を行い対応した。

活動スケジュール

9月20日(火)

9:40 東京駅を出発

12:30 水沢江刺着
ホテルへ移動

13:00 大船渡市へ

14:30 県)市)保健師へ活動
開始のあいさつ

16:00 活動終了

9月21日(水)

7:30 水沢を出発

9:00 大船渡着

訪問活動(末崎町)

12:00 昼食休憩

13:00 訪問活動

(末崎町・三陸町越喜来)

訪問調整・記録等

16:30 合同ミーティング

17:30 活動終了

9月22日(木)

7:30 水沢を出発

9:00 訪問活動
(末崎町・大船渡町)



12:00 昼食休憩

13:00 ころの相談室



16:30 訪問調整・記録処理

17:30 活動終了

9月23日(金・祝)

7:30 水沢を出発

9:00 訪問活動(赤崎地区)
訪問調整・記録処理
(県)市)への申し送り

12:00 活動終了

大船渡市全域





三陸町越喜来 甫嶺小学校

活動内容

- 予定訪問件数:9件(新規ケース 0件)
 - 訪問:7件(玄関先で家族との対応含む)
 - 不在:1件
 - 訪問拒否:1件
- 予定相談室件数:6件
 - 来室:3件
 - 新規:2件
 - 来室せず:1件

訪問活動

【主な活動地域】

大船渡・末崎・赤崎・三陸町越喜来

- 予定訪問件数9件のうち
アルコール依存症・アルコール問題は5件
診療拒否の1件もアルコール問題
⇒保健師の仮設住宅戸別訪問などで対応して
もらえるよう調整をはかる。



台風15号が過ぎ去った大船渡市の様子



急ピッチで進む建設作業

6班



29班



賀茂神社からの大船渡中心部の変化

まとめ

- 今後の展望や希望を前向きに述べる人が多かったことは印象的。
- 継続ケースの地域への移行を想定し、地区担当保健師との連携をきめ細かく行うことが重要。
- 全国の保健師チームの活動が縮小し、新規訪問ケースも減少していることから、当チームの活動目標・方針を検討する必要性を感じた。